

# GIP-TRIAD

## Newsletter

Sept. 2016

Vol.

4

### CONTENTS

#### 1 はじめに

#### 2 活動紹介

- …… 本学生物資源学類生が  
ボルドー大学サマースクール2016に参加
- …… 東照雄特命教授がボルドー大学および  
ボルドー・モンテーニュ大学を訪問
- …… 日本モンサント・持続可能な農業を目指す人材育成のための奨学  
金制度授与式・DDP参加学生と山根代表取締役社長との対談
- …… 国立台湾大学・京都大学・筑波大学のミニシンポジウム
- …… 生物資源学類生対象のダブルディグリー（DDP）・  
ジョイントディグリープログラム（JDP）説明会開催
- …… 筑波大学・大学説明会開催
- …… 日本留学説明会
- …… 筑波大学・サマーリサーチプログラム2016 開催
- …… 医療科学類生向けダブルディグリープログラム（DDP）、  
ジョイントディグリープログラム（GIP-TRIAD）、  
ジュークボックス履修カリキュラム説明会開催
- …… 国立台湾大学でのサマープログラム  
（NTU summer program +N1）

#### 3 海外留学関連情報

#### 4 編集後記



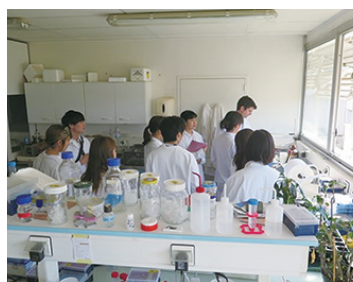
# 1 / はじめに

GIP-TRIAD ニュースレター第4号では、筑波大学・協定校である国立台湾大学、ボルドー大学と共に国際交流イベントの一環として継続的に実施しているサマープログラムを中心にそれらの交流活動およびその他の関連活動について紹介いたします。

## 2 / 活動紹介

### … 本学生物資源学類生がボルドー大学サマースクール2016に参加

本学の生物資源学類生9名が7月17-30日に開催されたボルドー大学サマースクール (The Bordeaux Summer School 2016) に参加しました。ボルドー大学教員による講義や実験実習により、欧州・フランスの農業・水産・林業の現状や最先端研究を学ぶと共に、研究機関、農業関連企業、シャトー等を訪問し、実際の作物栽培や林業、水産養殖、ワイン生産の現場を見学しました。また、休日を利用してボルドー市や近郊の散策、マルシェの見学などを楽しみました。カリキュラムは全て英語で実施され、最終日には生物資源学類・野村名可男先生も出席して実習報告会が行われました。密度の濃いスケジュールでしたが、参加学生にとっては非常に有意義な経験になったのではないかと考えられます。



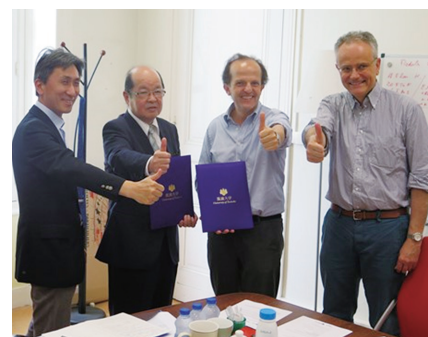
(左上) オリエンテーション、(右上) ボルドー大学教員・学生による歓迎会  
(左下) グリーンキャンパスにおける実験実習の様子  
(右下) 最終日に開催された報告会の様子

### … 東照雄特命教授がボルドー大学およびボルドー・モンテーニュ大学を訪問

6月9日と10日の両日に渡って、東照雄特命教授（前副学長、元生命環境科学研究科長）、大根田修国際室長がボルドー大学およびボルドー・モンテーニュ（旧第三）大学を訪問しました。

6月9日にはボルドー大学Vincent Dousset 国際担当副学長を表敬訪問し、永田学長によって署名されたCampus-in-Campus(CiC)補足協定書を手渡しました。これにより、両大学間のCiC構想が一段と進むことが期待されます。また、Achille Braquelaire 副学長（教育担当）とランチミーティングを行い、科目ジュークボックスの構築、現在、設置準備中のグローバルイノベーション学位プログラム (GIP-TRIAD)等について紹介と意見交換を行いました。

翌日の6月10日にはボルドー・モンテーニュ（旧第三）大学を訪問し、Patricia Budo国際部長およびIrina Nicoleta Simion国際協力担当課長同席のもと、全学協定締結に向けた交渉を行いました。また、モン



Campus-in-Campus(CiC)補足協定書をボルドー大学に手渡す  
左から大根田修国際室長、東照雄特命教授、ボルドー大学Vincent Dousset国際担当副学長、Laurent Servant副学長補佐（国際担当）

テーニュ大学が強みとする人文社会科学領域およびアフリカ地域との学術交流を柱とする本学との全学交流促進について意見交換を行いました。同日午後には、東照雄特命教授がボルドー大学グリーンキャンパス (INRAボルドー研究センター)を訪見し、GIP-TRIAD のボルドー大学側コーディネーターを務めるDominique Rolin教授と意見交換を行うと共に、生命環境科学研究科ダブルディグリープログラムにより滞在中の浅地真木氏(生物資源科学専攻2年次・グローバルフードセキュリティコース)と面談しました。また、筑波大学ワインを醸造しているINRA所属ワイナリー・Chateau Couhinsの視察を行いました。



Achille Braquelaire 副学長（教育担当）との懇談。左から2人目がAchille Braquelaire 副学長（教育担当）



ボルドー大学グリーンキャンパスにて生命環境科学研究科ダブルディグリープログラム参加学生と面談



INRAワイナリー・Chateau Couhins を視察

### … 日本モンサント・持続可能な農業を目指す人材育成のための奨学金制度授与式・DDP参加学生と山根代表取締役社長との対談



8月5日に日本モンサント株式会社・本社において、「日本モンサント・持続可能な農業を目指す人材育成のための奨学金制度」の採択者の授与式が行われました。本年度は4名の生物資源科学専攻・博士前期課程・グローバルフードセキュリティコース（ダブルディグリープログラム）の学生が採択されました。授与式では、日本モンサント株式会社代表取締役社長と4名の学生との対談が行われ、各学生よりダブルディグリープログラム参加への意気込み、本プログラム終了後の自身のキャリアパスについて語っていただきました。また、山根代表取締役社長より、モンサント株式会社の業務内容、企業理念、持続可能な農業を実現するためのモンサント株式会社の取り組み、遺伝子組換え作物を一般消費者へ正しく理解してもらうための広報活動など、普段聞くことのできない話をしていただきました。参加学生からも積極的に質問が飛び交うとても有意義な意見交換の場となりました。ダブルディグリープログラム参加学生には、現地での活動状況について、定期的に報告をしていただく予定です。後輩へ留学や現地で研究・勉学に励むことの魅力を伝えていただき、次年度も多くの学生がDDPへの参加を希望することを期待します。



対談の様子



モンサント社紹介の様子



日本モンサント株式会社本社における対談後の記念撮影  
右から日本モンサント株式会社代表取締役社長・山根精一郎氏、井原徳文さん・森井雅人さん・武井瞳さん・島田紘明さん（筑波大学大学院生命環境科学研究科・生物資源科学専攻（グローバルフードセキュリティコース））、岡部佳弘 助教（筑波大学・生命環境系）

### … 国立台湾大学-京都大学-筑波大学のミニシンポジウム

6月18日、国立台湾大学－京都大学－筑波大学間の遠隔講義（GIP-TRIAD科目予定）付随ミニシンポジウムが国立台湾大学で開催されました。筑波大学からは8名の学生が参加し、自身の研究成果の口頭発表、ポスター発表を行いました。筑波大学からは口頭発表とポスター発表があり、各1名が受賞しました。

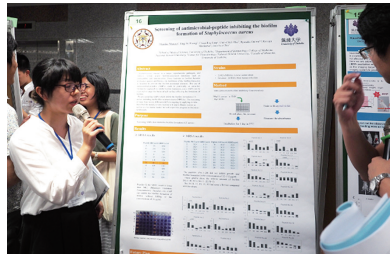


参加者全員





ミニシンポジウムポスター



ポスター発表



筑波大学からの参加者

### … 生物資源学類生対象のダブルディグリー（DDP）・ジョイントディグリープログラム（JDP）説明会開催

7月6日に生物資源学類生向けにダブルディグリープログラム（DDP）およびジョイントディグリープログラム（JDP）の説明会を開催しました。はじめに山岡裕一生物資源科学専攻長よりDDPの概要について説明があり、その後、各サブコース（協定校）の担当教員よりボルドー大学（松倉千昭 教授）、国立台湾大学（阿部淳一ピーター 助教）、ユタ州立大学（ティラー・デマー 教授）におけるDDPの紹介がありました。国立台湾大学とのDDPの紹介においては、国立台湾大学から本学へDDP学生として留学している学生3名と9月より国立台湾大学へ留学する本学学生1名より、DDPの志望動機など各々のモチベーションについて話をいただきました。DDPの説明後に松倉千昭 教授より本学・ボルドー大学・国立台湾大学の3か国が連携した共同学位プログラム(GIP-TRIAD)の説明が行われました。参加した生物資源学類生からも積極的に質問があり、留学に対する意欲、高い関心があることを感じました。このような取り組みを継続していくことで、高い志を持った学生がDDPおよびJDPへ参加してくれることを期待します。



(左上) DDPの説明をする山岡裕一 生物資源科学専攻長、(中央上段) 質疑応答の様子  
(右上) ボルドー大学の紹介をする松倉千昭教授、(左下) 国立台湾大学の紹介をする阿部淳一ピーター 助教  
(中央下段) 国立台湾大学DDP参加学生、(右下) ユタ州立大学の紹介をするティラー・デマー教授

### … 筑波大学・大学説明会開催（生物資源学類）

8月7日に本学において、大学説明会が開催されました。生物資源学類の特別講義として「トマトに学び、理想のトマトをデザインする」と題して、江面 浩 教授による高校生向けの講義が行われました。聴講した高校生が、研究内容に興味を持ち本学に入学してくれることを期待します。



特別講義の様子



研究室の学生による研究内容の紹介の様子

## … 日本留学説明会

7月13日、医学医療系の大庭良介 准教授が台北の交流協会（日本の台湾における領事館的存在）において開催された日本留学説明会に参加しました。英語プログラムへの関心の高さがうかがえました。



留学説明会ポスター



筑波大学の紹介を行う大庭良介 准教授（医学医療系）

## … 筑波大学・サマーリサーチプログラム2016 開催

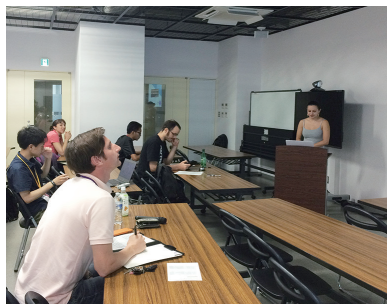
協定校との交流の一環として2016年のサマーリサーチプログラムが実施されました（7月25日-8月6日）。2週間の日程で、台湾、フランス、アメリカなど各国の海外協定校から来日した学生が医学または生命環境科学研究科のラボに配置され、最先端の研究を体験しました。最終日には成果発表会が行われました。オリエンテーションにおいては、医学医療系の大庭良介 准教授よりサマーリサーチプログラムの参加学生に対してダブルディグリープログラム (DDP)、ジョイントディグリープログラム (GIP-TRIAD) の紹介がありました。



サマーリサーチプログラムオリエンテーションの様子



GIP-TRIADの紹介を行う大庭良介准教授



発表練習の様子



発表会の様子

## … 医療科学類生向けダブルディグリープログラム (DDP)、ジョイントディグリープログラム (GIP-TRIAD)、ジュークボックス履修カリキュラム説明会開催

8月2日、筑波大学において、主に医療科学類生（学部生）を対象とし、修士課程で海外長期学習を可能にするプログラムを紹介しました。10名ほどの積極的な学生が集まり、GIP-TRIADが一番人気となりました。



## … 国立台湾大学でのサマープログラム (NTU summer program +N1)

今年もNTU summer program +N1（バイオテクノロジーコース）が始まり（8月14日-8月26日）、筑波大学から10名の学生が国立台湾大学に滞りました。本プログラムは国立台湾大学から単位が発行され筑波大学側でも互換が可能となっており、前半1週間は各ラボへ配属されて最先端の研究を、後半1週間はCenter for Biotechnologyにおいて講義と実習を行いました。期間中に台北近郊(平溪)へのエクスカージョンも行われました。





サマープログラム参加者



実習に参加する筑波大生



サマープログラム  
テキストブック

### 3 / 海外留学関連情報

#### フランス政府給費留学生の募集（2017）

フランス政府給費留学生制度は、フランス留学（修士課程、博士課程、ダブルディグリープログラム）およびフランスでの研究を希望する日本人学生とポストドク研究者を対象としています。給費生は日仏審査員による書類審査と面接試験により選抜されます。受験者には詳細な研究計画の提出が求められます。また、フランスの受け入れ機関と事前にコンタクトをとっておく必要があります。選抜された給費生には、6か月から12か月の給費が与えられます。

詳細については、ホームページ(<http://www.science-japon.org/bgf/>)に掲載の募集要項参照



#### トビタテ留学ジャパン



**トビタテ！**  
留学JAPAN  
その経験が、未来の価値。

留学に  
ついて知りたい

海外留学奨学金情報に  
ついて知りたい

大学・企業  
の声

高校生の  
留学は  
こちら

文部科学省

**TOBITATE! NEXT JAPAN**  
日本代表プログラム

**第6期生 募集中!!**

海外初チャレンジ応援枠 家計基準の緩和  
応募しやすくなりました!

募集期間: 第6期→2016年7月1日～2016年10月24日

**応募・詳細はこちら**

まずは応募に必要な  
「留学計画書」を  
ダウンロード

「留学計画書」  
をみる

**Download**

公式SNSアカウント

Tweets by @ryugakujapan

 トビタテ！留学JAPAN  
@ryugakujapan

【メディア掲載】THE RYUGAKUで、  
トビタテの「魅力」と「合格者の共通  
点」というテーマで取材いただきました。

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」は、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。

第6期生の募集が開始されております。

詳細は、ウェブサイト(<http://www.tobitate.mext.go.jp/>)をご確認下さい。

### 4 編集後記

近年、学群あるいは学類レベルでの学生、教職員の国際交流も盛んになっており、そのような交流をとおして、修士、博士課程の共同学位プログラムに興味を持つ学生さんが増えることを期待します。引き続き、現地における本学駐在教員、学生、海外オフィスの情報をより一層充実させていく予定です。皆さまにとってより有益なニュースレターにしたいと考えておりますので、ご意見・ご要望等ございましたら、以下までご連絡をお願い致します。

筑波大学 生命環境系 助教 岡部佳弘【連絡先】 E-mail: [okabe.yoshihiro.gp@u.tsukuba.ac.jp](mailto:okabe.yoshihiro.gp@u.tsukuba.ac.jp) / Tel: 029-853-6005